

9. がん対策

がんは、昭和56年に脳血管疾患を抜き、日本人の死亡原因の第1位になった。豊島区においても、がんは昭和52年から死亡原因の第1位となっており、約3人に1人ががんにより死亡している。

豊島区ではこのような現状から、がん対策を区政の最重要課題と位置付け、がん予防の知識・意識の普及啓発、がん検診の推進、がん患者及び家族への支援など、総合的な取組みを行っている。

[1] がん対策の推進

(1) 会議体の設置

① 豊島区がん対策推進本部（庁内組織）

区の最重要課題であるがん対策を効果的、効率的に推進するため、庁内の部局を横断した連携、総合的ながん対策の実施を目的として、平成22年1月設置。（平成24年度より休止）

② 豊島区がん対策推進会議（学識経験者等）

区においてがん対策を推進するにあたり、区の現状の検証、がん対策に関する条例の制定及びがん対策に関する計画の策定、がんに関する施策等について、専門的な見地から検討するため平成22年度に設置した。

(2) 条例・計画

① 豊島区がん対策推進条例及び豊島区がん対策基金条例【平成22年12月13日制定】

がんが区民の生命及び健康にとって重大な脅威となっている現状にかんがみ、がんの予防及び早期発見、また正しい知識の普及啓発並びにがん患者等の負担軽減を図ることにより、がん対策の総合的かつ計画的な推進に資することを定めた条例を制定。

併せて、豊島区がん対策基金条例を制定するとともに、「豊島区がん対策基金」を設置し、がんに関する正しい知識・意識の普及啓発事業、がん検診などの予防事業に活用している。

② 豊島区がん対策推進計画【平成23年3月策定】

豊島区がん対策推進条例制定に基づき、その具体的な施策の実施計画として策定した。計画期間は平成23年度から平成27年度までの5か年とする。

(3) がん対策基金

豊島区がん対策推進条例に基づき、区民ががんに関する正しい知識、意識を持つことやがん検診受診率向上のための普及啓発を行うとともに、がん対策基金を創設し、普及啓発に活用する。

□基金実績額

年 度	実績金額（円）
23年度	3,163,322
24年度	3,198,652
25年度	1,719,110

(4) がん対策普及啓発

がん検診の受診勧奨ならびにがんに関する普及啓発事業を実施している。

① がん検診受診勧奨通知の送付

[平成25年度]

国保特定健診	がん検診申込書付き案内 (約50,000人)
長寿健診 (後期高齢者)	がん検診申込書付き案内 (約25,000人)
福祉健診	がん検診申込書付き案内 (約5,000人)
がん検診のリーフレット	リーフレットの配置 (各医療機関、区施設など)
がん検診無料クーポン (国) 子宮頸がん (20、25、30、35、40歳の区民 (女性)) 乳がん (40、45、50、55、60歳の区民 (女性)) 大腸がん (40、45、50、55、60歳の区民)	対象者全員に郵送 子宮頸がん (約11,000人) 乳がん (約8,600人) 大腸がん (約18,000人)
がんの検診チケット (区独自) 子宮頸がん (20歳以上偶数年齢の区民(女性)) 乳がん(40歳以上偶数年齢の区民(女性)) 大腸がん (40歳以上の区民)	対象者全員に郵送 子宮頸がん (約55,000人) 乳がん (約34,000人) 大腸がん (約126,500人)

② 乳がんグローブの配布

乳がんに関する知識の普及、自己触診方法の周知のため、乳がんグローブの使用方法説明ならびに配布を実施。

③ がん検診受診勧奨イベントの実施

年度	回数	内 容		参加者
21年度	1回	・スター混声合唱団&山田邦子さんトークショー		4,504名
22年度	4回	・お笑い芸人によるトーク・映画「余命」 ・がん検診の啓発、乳がん自己触診体験 (ふくし健康まつり)		4,197名
23年度	2回	・お笑い&健康イベント ・がん予防クイズ (ふくし健康まつり)		3,500名
年度	開催日	場 所	内 容	参加者
24年度	9月1日	豊島公会堂	・綾戸智恵元気が出るトーク&ライブ	731名
	11月3日	サンシャイン60噴水 ひろば	・笑って踊ってがん予防 ・がん啓発ブース	2,833名
	12月9日	池袋保健所	・がん予防クイズ、がん検診啓発 (ふくし健康まつり)	292名
25年度	10月27日	サンシャイン60噴水 ひろば	・癒しと笑顔のがん予防ライブ ・がん啓発ブース	2,110名
	12月9日	池袋保健所	・大腸がんクイズ、がん検診啓発 (ふくし健康まつり)	552名
	1月18日	区民センター	・原千晶氏によるがん検診受診勧奨講演会	74名

④ がん対策普及啓発イベントの実施

□がん対策区民大会・がん対策推進・特別公演開催実績

年度	日 時	場 所	内 容	参加者
22年度	3月5日	帝京平成大学 沖永記念ホール	がん対策推進宣言 鳥越俊太郎氏による特別講演	755名
23年度	6月18日	帝京平成大学 沖永記念ホール	第1部 講演会「がん予防について」 第2部 小椋佳「歌紡ぎの会」	918名
24年度	12月23日	豊島公会堂	第1部 講演会「がん教育について」 第2部 荘村清志&山形由美ジョイント・コンサート	781名
25年度	10月11日	豊島公会堂	第1部 講演会「女性のがん予防について」 第2部 コンサート「塩田美奈子と12人の ヴァイオリニスト」	676名

[2] がん検診

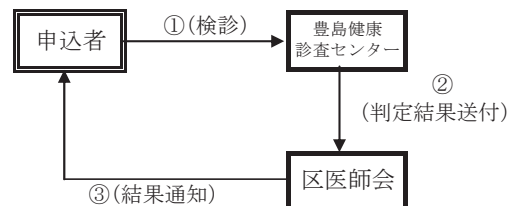
(1) 胃がん検診

胃がんは、我が国のがんの中で多く発生しているため、胃がん検診を実施することにより、早期に発見し医療に結びつけることは、がん予防対策上重要な課題である。

区医師会に委託し、年間を通して実施している。

〔開始年度〕昭和44年度〔対象〕30歳以上の区民

なお、平成4年度から、経過観察者及び70歳以上の希望者に対しては、直接「二次検診」を実施していたが、平成22年度からは、受診者全員の直接撮影（デジタル）の検診1回としている。



□ 一次検査（X線間接撮影）受診状況（～21年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	検診結果		追跡 対象者数	がん 発見者数
		異常なし	要精密		
21年度	3,394	2,816	578	36	3

□ 二次検査による検診結果（X線直接撮影）（～21年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数	検診結果						主な検査所見(延人員)								
		1次検査を 要精密で 検査した者	直接2次検診		異常なし	要精密検査 (含む要面接指導)	その他の疾病	胃がん (疑い含む)	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃炎	胃下垂	潰瘍癒痕	胃十二指腸	胃ポリープ	その他
			観察	要経過 以上												
21年度	1,634	448	7	1,179	774	302	558	44	16	3	365	9	211	238	227	

□ 検診結果（デジタルX線直接撮影）（22年度～）

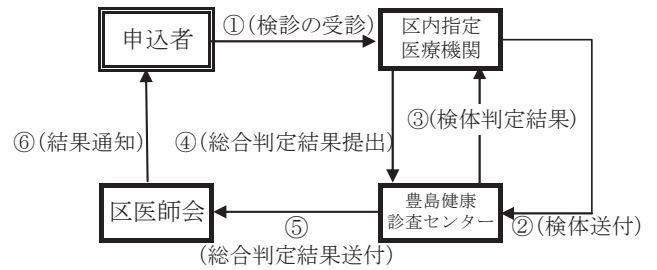
（単位：人）

区分 年度	受診者数	主な検査所見(延人員)										要精密検査者	追跡対象者数	がん発見者数
		異常なし	胃がん (疑い含む)	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃炎	胃下垂	潰瘍癒痕	胃十二指腸	胃ポリープ	その他			
22年度	7,329	4,910	78	27	3	1,130	54	444	686	706	519	268	4	
23年度	5,785	3,602	77	11	2	1,021	63	294	376	477	412	222	5	
24年度	5,632	3,424	60	26	1	1,001	59	365	439	677	427	156	5	
25年度	5,588	3,217	66	14	1	1,155	61	369	500	683	256	-	-	
30～39歳	365	283	5	0	0	32	2	20	29	5	10	-	-	
40～49歳	1,106	766	8	0	0	135	6	65	129	46	41	-	-	
50～59歳	990	627	7	3	0	144	9	53	122	73	32	-	-	
60～69歳	1,749	940	25	5	0	448	26	126	123	211	85	-	-	
70歳以上	1,378	601	21	6	1	396	18	105	97	348	88	-	-	

（注）追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

(2) 子宮頸がん検診

子宮がんは、早期治療によりほとんど治癒することから、早期発見が重要である。20歳以上の女性を対象に、区医師会に委託し区内の医療機関にて実施している。昭和63年度から平成15年度までは子宮頸がん受診者のうち一定の条件に該当する者には、子宮体がんの検診も実施した。



平成17年度からは、厚生労働省の指針を受け、実施年度中に偶数年齢を迎える者を対象に行なっている。

また、平成21年度から無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付した。平成23年度から細胞診の評価方式を日母分類からベセスダ方式に変更。検診実施期間を延長し、検診対象者に「検診チケット」を送付した（無料クーポン対象者へはクーポン券を送付）。

〔開始年度〕 昭和47年度

〔対象〕 区対象：区検診チケット（年度末現在、20歳以上で偶数年齢の女性）

国対象：無料クーポン（4月1日現在、20、25、30、35、40歳の女性）

〔実施時期〕 5～1月

□ 受診状況（日母分類）（～平成22年度）

（単位：人）

区分 年度	受診者数		総合判定				細胞診・クラス分類					追跡 対象者数	がん 発見者数		
			異常なし		経過 観察		要精密 検査		I	II	III			IV	V
21年度	6,582	4,345	5,999	3,982	551	348	32	15	624	5,769	186	2	1	32	2
		2,237		2,017		203		17							
22年度	8,063	5,295	7,354	4,860	560	343	149	92	743	7,121	195	4	0	149	1
		2,768		2,494		217		57							

（注1）経過観察者の中には、その他の疾患による者も含む。

（注2）日母分類のクラス分類Ⅲは、Ⅲa、Ⅲ、Ⅲbと判定された者。

（注3）21年度以降の受診者数は（左段）合計受診者数、（右段・上）区検診・（右段・下）無料クーポン検診受診者数。

（注4）21年度は同一年度、重複受診者が2名いるが、受診者数から差し引いてある。

□ 受診状況 (ベセスダ方式) (平成23年度～)

(単位:人)

区分 年度	受診者数		受診結果						追跡 対象 者数	がん 発見 者数
			異常なし		要精密検査		標本不適正			
23年度	11,728	9,483	11,164	9,052	563	430	1	1	563	9
		2,245		2,112		133		0		
24年度	11,371	9,273	10,951	8,947	418	324	2	2	418	4
		2,098		2,004		94		0		
25年度	10,999	9,002	10,577	8,671	419	328	3	3	-	-
		1,997		1,906		91		0		
20～29歳	1,529	982	1,450	927	78	54	1	1	-	-
		547		523		24		0		
30～39歳	3,266	2,232	3,123	2,138	143	94	0	0	-	-
		1,034		985		49		0		
40～49歳	2,842	2,426	2,723	2,325	119	101	0	0	-	-
		416		398		18		0		
50～59歳	1,451	1,451	1,404	1,404	46	46	1	1	-	-
		/		/		/		/		
60～69歳	1,167	1,167	1,143	1,143	23	23	1	1	-	-
		/		/		/		/		
70歳以上	744	744	734	734	10	10	0	0	-	-
		/		/		/		/		

(注1) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

(注2) 受診者数は(左段)合計受診者数、(右段・上)区検診・(右段・下)無料クーポン検診受診者数。

□ 検診結果 (ベセスダ方式) (平成23年度～)

(単位:人)

区分 年度	細胞診による検査結果													
	NILM		ASC-US		ASC-H		L-SIL		H-SIL		SCC		腺系病変	
23年度	11,161	9,049	301	240	26	23	151	112	67	41	4	4	17	13
		2,112		61		3		39		26		0		4
24年度	10,951	8,947	222	173	8	5	128	97	38	31	0	0	22	18
		2,004		49		3		31		7		0		0
25年度	10,577	8,671	263	212	13	9	83	68	35	20	5	5	20	13
		1,906		51		4		15		15		0		0
20～29歳	1,450	927	46	31	1	1	23	18	7	4	0	0	1	0
		523		15		0		5		3		0		0
30～39歳	3,123	2,138	88	61	4	1	29	22	12	5	1	1	9	4
		985		27		3		7		7		0		0
40～49歳	2,723	2,325	76	67	1	0	23	20	11	6	3	3	5	4
		398		9		1		3		5		0		0
50～59歳	1,404	1,404	30	30	6	6	4	4	3	3	0	0	3	3
		/		/		/		/		/		/		/
60～69歳	1,143	1,143	19	19	0	0	2	2	0	0	1	1	1	1
		/		/		/		/		/		/		/
70歳以上	734	734	4	4	1	1	2	2	2	2	0	0	1	1
		/		/		/		/		/		/		/

(注) 23年度から、子宮頸部細胞診の検査分類が、日母分類からベセスダシステム分類に変更した。

参考表 ベセスダ方式と日母分類

細胞診判定	ベセスダ分類		推定病変等	旧日母分類
	陰性	NILM		炎症・その他の非腫瘍性所見
扁平 上皮系 病変	ASC-US		軽度扁平上皮内病変疑い	II・IIIa
	ASC-H		高度扁平上皮内病変疑い	IIIa・IIIb
	L-SIL		HPV（ヒトパピローマウイルス）感染 軽度異形成	IIIa
	H-SIL		中等度異形成	IIIa
			高度異形成	IIIb
			上皮内がん	IV
	SCC		扁平上皮がん	V
腺系病変			AGC（腺異型または腺がん疑い）	III
			AIS（上皮内腺がん）	IV
			adenocarcinoma（腺がん）	V
			other malignancy（その他の悪性腫瘍）	
判定不能		再掲・不適正の場合、再検査		

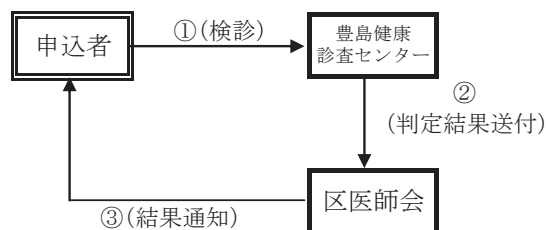
(3) 肺がん検診

大気汚染、喫煙等の害により増加する肺がん対策として、肺がんの早期発見による区民の健康の保持を目的とし、40歳以上の区民を対象に、区医師会に委託し、毎年実施している。

〔開始年度〕 昭和55年度

〔対象〕 40歳以上の区民

なお、平成12年度から、従来の胸部X線検査に加え全受診者にマルチスライスCT検査を実施している。平成17年度から、喀痰検査は50歳以上の一定条件に該当する方を対象としている。



□受診状況

(単位：人)

区分 年度	受診者数	検 診 結 果				要精密検査者	追 跡 対象者数	がん発 見者数
		異常を 認めず	異常を認 めるが精 査の必要 なし	がんの疑 いのある 者	がん以外 の疾患			
21年度	5,156	781	3,467	274	634	908	338	5
22年度	6,522	888	4,596	376	662	1,038	457	7
23年度	6,041	570	4,617	299	554	853	354	10
24年度	6,286	482	5,066	317	421	738	316	7
25年度	6,500	410	5,274	296	520	816	-	-
40～49歳	1,250	204	978	37	31	68	-	-
50～59歳	1,210	106	1,000	43	61	104	-	-
60～69歳	2,089	73	1,736	96	184	280	-	-
70歳以上	1,951	27	1,560	120	244	364	-	-

(注1) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

(注2) 24年度から、検診結果はCT、X線、喀痰検査の総合判定。

(4) 乳がん検診

乳がんは年々増加の傾向にあるが、早期に発見し、早期治療を行えば完治も可能である。昭和62年度から区医師会に委託し、区内医療機関と豊島健康診査センターにて実施している。

平成17年度からは、厚生労働省の指針を受け、実施年度中に偶数年齢を迎える者を対象にしている。

平成21年度からは、無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付した。平成23年度から検診実施期間を延長し、検診対象者に「検診チケット」を送付した（無料クーポン対象はクーポン優先）。

〔開始年度〕 昭和62年度

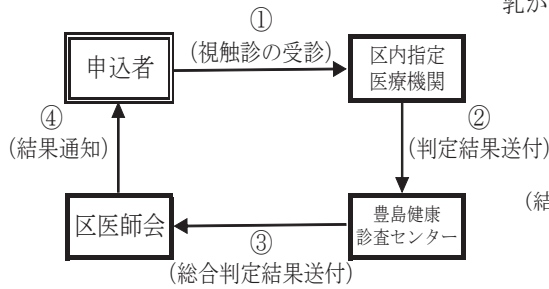
〔対象〕 区対象：検診チケット(年度末現在、40歳以上で偶数年齢の女性)

国対象：無料クーポン(4月1日現在、40、45、50、55、60歳の女性)

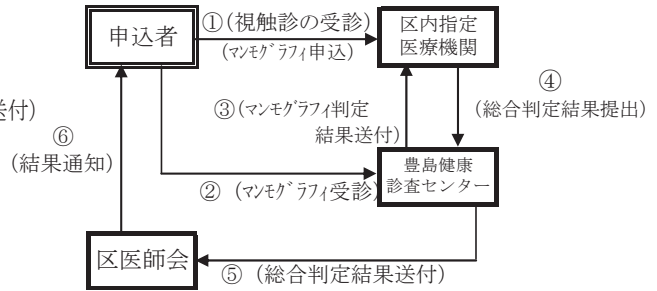
〔実施時期〕 5～1月

なお、乳房X線撮影（マンモグラフィ）検査は、平成12年度から平成15年度は40歳以上70歳以下の希望者に実施し、平成16年度からは40歳以上の希望者に実施。撮影内容を平成19年度からは、40歳以上50歳未満は2方向撮影に変更した。

乳がん検診（視触診のみ）



乳がん検診（視触診とマンモグラフィ受診）



□ 受診状況

(単位：人)

区分 年度	受診者数		検診結果							がん以外の 所見 (※)	追跡 対象者 数	がん発 見者数	
			マンモグラフィ 受診者数		異常を 認めず	要経過 観察		要精密 検査					
21年度	5,082	3,263	4,271	2,692		4,469	2,883	70	502	310	50	24	502
		1,819		1,579	1,586		41	192		26			
22年度	5,562	3,526	4,815	2,955	5,063	3,240	64	400	222	35	29	400	16
		2,036		1,860		1,823	35		178		6		
23年度	7,036	5,380	6,247	4,743	6,510	4,992	/	526	388	/	/	526	23
		1,656		1,504		1,518	/		138		/		
24年度	7,105	5,136	6,467	4,676	6,522	4,727	/	583	409	/	/	583	21
		1,969		1,791		1,795	/		174		/		
25年度	6,935	5,352	6,155	4,726	6,260	4,844	/	675	508	/	/	-	-
		1,583		1,429		1,416	/		167		/		
40～49歳	2,835	1,957	2,490	1,713	2,490	1,709	/	345	248	/	/	-	-
		878		777		781	/		97		/		
50～59歳	1,746	1,196	1,604	1,098	1,586	1,093	/	160	103	/	/	-	-
		550		506		493	/		57		/		
60～69歳	1,434	1,279	1,293	1,147	1,318	1,176	/	116	103	/	/	-	-
		155		146		142	/		13		/		
70歳以上	920	920	768	768	866	866	/	54	54	/	/	-	-
		/		/		/	/		/		/		

(注1) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

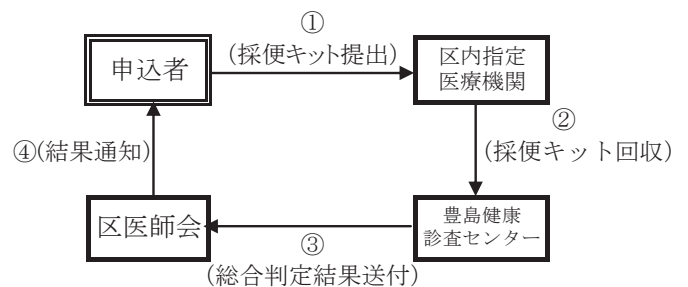
(注2) 21年度以降の受診者数は、(左段) 合計受診者数、(右段・上) 区検診・(右段・下) 無料クーポン検診受診者数。

(※) がん以外の所見は、要経過観察・要精密検査の内、がん以外の者を再掲。23年度から、検診結果をがんに特化し、がん以外の所見は未記入とした。

(5) 大腸がん検診

食生活の欧米化等により、増加傾向にある大腸がんの早期発見、早期治療を図るため、免疫学的便潜血反応検査法(RPHAによる2日法)による検診を区医師会に委託し、実施している。

平成23年度からは、無料クーポン券を国の指定する年齢の者に送付している。平成24年度からは、区検診対象者に「検診チケット」を送付した(無料クーポン対象はクーポン優先)。



〔開始年度〕平成2年度

〔対 象〕 区対象：30歳以上の区民

国対象：無料クーポン（4月1日現在40、45、50、55、60歳の区民）

〔実施期間〕 通年

□受診状況

(単位：人)

年度	区分	受診者数		検診結果						追跡対象者数	がん発見者数
				異常なし		要精密		検体不良			
21年度		6,729		5,912		817		0		817	24
22年度		7,503		6,634		869		0		869	24
23年度	8,092	6,492	7,168	5,735	924	757	0	0	924	23	
		1,600		1,433		167		0			
24年度	16,074	14,432	14,228	12,754	1,846	1,678	0	0	1,846	40	
		1,642		1,474		168		0			
25年度	14,417	12,753	12,551	11,071	1,866	1,682	0	0	-	-	
		1,664		1,480		184		0	-	-	
30～39歳	273	273	239	239	34	34	0	0	-	-	
		/		/		/		/	/	/	-
40～49歳	2,769	2,031	2,424	1,768	345	263	0	0	-	-	
		738		656		82		0	-	-	
50～59歳	2,438	1,840	2,175	1,645	263	195	0	0	-	-	
		598		530		68		0	-	-	
60～69歳	4,355	4,027	3,843	3,549	512	478	0	0	-	-	
		328		294		34		0	-	-	
70歳以上	4,582	4,582	3,870	3,870	712	712	0	0	-	-	
		/		/		/		/	/	/	-

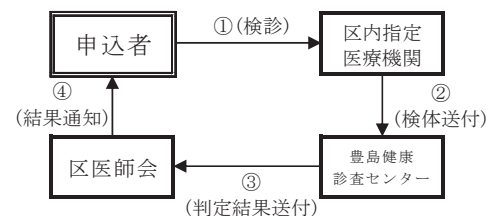
(注1) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

(注2) 23年度以降の受診者数は(左段)合計受診者数、(右段・上)区検診・(右段・下)無料クーポン検診受診者数。

(6) 前立腺がん検診

り患者が年々増加傾向にある前立腺がんの早期発見、早期治療を図るため、PSA検査による検診を区医師会に委託し、実施している。

国民健康保険加入者は、特定健康診査と同時に受診することができる。



〔開始年度〕平成23年度

〔対 象〕 50～74歳で年度末現在、偶数年齢の区民（男性）

□受診状況（平成23年度～）

区分 年度	受診者数	検 診 結 果		追跡 対象者数	がん 発見者数
		異常なし	要精密		
23年度	3,094	2,867	227	227	38
24年度	3,533	3,274	259	259	52
25年度	3,433	3,207	226	-	-
50～59歳	704	686	18	-	-
60～69歳	1,504	1,404	100	-	-
70～74歳	1,225	1,117	108	-	-

(注) 追跡対象者数・がん発見者数は、翌年度下半期に数値が確定するため、平成25年度は掲載されていない。

[3]がん先進医療費利子補給事業

高額な医療費が必要となるがんの先進医療を受ける区民やその家族への経済的支援を行ない、がんの先進医療を受けやすい環境づくりを推進するため、区と協定を締結した金融機関のがん先進医療費専用ローンを活用した区民に対し、利子相当額を助成する。

(1) 対象となる医療

厚生労働省が定める先進医療のうち、がんの治療を目的とした医療技術。

(2) 申請要件

- ①がんの先進医療を受ける予定のある方、およびその家族（3親等内）
- ②課税総所得が700万以下の世帯に属する方
- ③区内に住所を有し、かつ申請日から過去1年以上区内に住所を有している方

(3) 対象となるローンの概要

- ①区と協定を締結した金融機関（巣鴨信用金庫、東京信用金庫）の「がん先進医療費専用ローン」
- ②融資限度額は最大300万円まで、年利固定6%（保証料を含む）以内
- ③毎月元金または元利金等還付償還 ※据置期間なし
- ④担保・保証人は不要「しんきん保証基金」が保証

(4) 返済期間

最長8年間（96か月）

(5) 実績

（単位：人）

年度	利用者数
25年度	0

(注) 平成25年度6月より事業開始